

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 岡山市立小串小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒702 - 8016
岡山市南区小串 3 3 7 9

E-mail kogusis@city-okayama.ed.jp

Website http://city-okayama.ed.

児童生徒数 男子 12 名 女子 15 名 合計 27 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) アマモ再生活動

平成28年6月15日（水）「アマモの花枝」を採集する。（相引海岸）

吉備国際大学・福田先生、岡山市・県の水産課、岡山旭川ロータリークラブ、小串漁業協同組合、5・6年児童、教職員

・小串漁協の方々が船の上から「アマモ」を採取する。（相引港内）



・アマモの束を作り、束ねたアマモを袋に入れる。

・陸でアマモを束ねる。



・袋に入れたアマモを海の中に沈める。



平成28年8月23日（火）「アマモの種の選別作業」（小串小学校理科室）

岡山県・岡山市の水産課、小串漁業協同組合、旭川ロータリークラブ、5・6年児童保護者、教職員が参加し、吉備国際大学の福田先生に指導していただいた。

・福田先生にわかりやすく教えていただいた。



・室内ピンセットを用いて、ゴミを除去する。



平成28年9月26日（月）「アマモの種植え」（小串小学校理科室）

県・市の水産課、小串漁業協同組合、旭川ロータリークラブ、小串小5・6年児童

西栗倉小4年生、教職員が参加して、吉備国際大学の福田先生に指導していただいた。

・福田先生の説明を聞く



・アマモの種を植え付ける
西栗倉小の3年生に本校6年生がやさしく教える姿が見られた。



・今年度は、採取できた種が少なかったため、福田先生と小串小の5・6年生が話し合いを行い、追加実験を行った。(塩分濃度によるアマモ生育実験)



平成29年2月14日(火)「アマモ学習のまとめ」 福田先生来校・5・6年生
旭川ロータリークラブ

福田先生に来校していただき、「アマモ生育実験」についての考察および「アマモ再生学習」のまとめとして、質問等に答えていただき、まとめ学習をした。



実験のデータ等から生まれた質問に福田先生が答えてくださったり、考察について助言をしてくださったりした。

地元学区内の相引海岸で採取したアマモで生育実験を行った。校内で毎日、発芽・成長の様子、温度変化等調べてデータを記録した。



自分たちが、記録したデータについて、もう一度見直して、アマモの生育に関して、考察を深めていった。



福田先生から実験に関する考察とまとめを聞き、さらに「アマモ再生学習」のまとめについて動画を使いながら、わかりやすく説明していただいた。



学区内の相引で採集したアマモ（種があまり取れなかった。）は、5・6年生が実験計画を立て、塩分濃度の比較実験を行った。このアマモは、新年度になってしまうが、4月下旬の相引海岸の潮位が低い時に、植え付ける予定である。

西栗倉小学校の3年生と行った「アマモの植ええ」（福田先生が用意したもの・姫路）の後に観察したアマモ（5・6年生が自宅に持ち帰ったもの）は、福田先生が3月2日に姫路の海で植え付けをするので、それを先生にお願いをするセレモニーを行った。

福田先生に「アマモ」を託す



福田先生・田辺さんにお礼のあいさつ



（子どもの感想）

・思い出に残っていることは、いつものようにただアマモを育ててそれを観察するのではなく、今年のようにアマモの発芽率や気温などを毎日調べ上げ、自分たちなりに考察を考えたということだ。夏休みにみんなで話し合い、決めたことがここまでアマモについてわかるとは思わなかったの、とてもよい経験ができたと思っている。（6年生）

・後輩たちにぜひしてもらいたいことは、この活動を続けてほしいということと、

関わっている人に感謝の気持ちをもって取り組んでほしいということです。小串ならではの活動なので、卒業した後も続けてくれたらいいなと思います。(6年生)
・E S Dの活動をもっといろいろな人に知ってもらいたいから、E S Dの発表をもっと他の人に言って広めてほしい。(6年生)

成果と課題

・E S Dの視点で体験学習と他の教科とのつながりを明確にして、カリキュラム関連図として体系的に見直していき、小串独自のE S Dカリキュラムを作成していきたい。

(高学年に至るまでの「体験学習」等の系統性が十分でない)

・アマモ再生活動だけでなく、「海辺の学校」として、本校の児童がまだ十分に学区内の海岸等について、活動した経験も少なくもっと様々な視点から学区を知ることが大切である。

(2)「のりすき体験活動」

平成29年1月23日(月)～1月30日(月) のりすき事前学習
(各学年でDVDを視聴)

小串漁業協同組合から「のりの養殖・出荷」のDVDをお借りして、授業をした。



5・6年生の授業



1・2年生の授業

平成29年1月30日(月) 「のりすき体験学習」の準備(5・6年生)



5・6年生が「のりすき体験学習」で使う木枠の点検・修理を行った。また、天日干しの際に使用するので、隅々まで清掃も行った。

平成29年2月7日（火） のりすき体験学習 （プール横・広場）

隔年で開催されている「のりすき体験学習」は、小串漁業協同組合の全面的な協力のもとに行われた。（組合長さんをはじめ7名の方々が指導に来校された。）



・まずはじめに、組合長さんから全校児童に、児島湾の「のり養殖」の歴史について、お話をしていただいた。



・昔ながらの「のりすき」の方法を実際にやっていただきながら説明を聞いた。



・「ミンチのり」（朝に取ったもの）を木枠に流しこむ。（様々な形がある）が、やさしく支援してくださった。



・のりの水を絞り出す。



・自分がすいたのりを天日干しにする。
（一人が3枚作成）

取り組みの成果



- ・ 1・2年生にとっては、初めての「のりすき体験学習」だったが、5・6年生がやさしく教てあげることができた。
- ・ この日は、小串漁協の方々だけでなく、学校支援ボランティアの方々も支援してくださった。
- ・ この後、のりを天日干しにして、乾燥させた後は、児童は、そののりを家に持って帰る。

(児童の感想)

- ・ 初めて「のりすき」をして楽しかったです。6年生とペアでやりました。のりの型を作るのが難しかったです。脱水するのはかんたんでした。またやってみたいです。

(1年生)

- ・ 自分は、この「のりすき体験」を通して、「小串ののり」のことや地域の人との協力の大切さなどをよく知ることが出来ました。これからもこの経験を生かして頑張りたいです。

(6年生)

- ・ この活動は、漁協の人やボランティアの人の協力で、できているので感謝したいと思います。これからも、この活動が続いてくれたらいいと思います。

(6年生)

成果と課題

- ・ 児童は、事前に「のりの養殖・出荷」のDVDの視聴をして、「小串ののり」についての興味をもつことができた。(DVDの中で「小串ののり」が出てくる)そして、実際に「のりすき体験」をすることで、さらに興味関心が高まり、地元小串を誇りに思う気持ちを培うことができた。

また、地元漁協や学校支援ボランティアの方々の支援に対して感謝の気持ちをもつことができた。

- ☒ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施

☐ その他（ ）